

都道府県がん診療連携拠点病院に対するアンケート結果について

配布対象：都道府県がん診療連携拠点病院 51 病院

回収率：51 / 51 (100%)

2010 年 8 月 23 日配布、9 月 7 日までに回収

I. 国立がん研究センターに対するご要望等について

1. がん登録

- 全がん協、がん診療連携拠点病院、地域がん登録など一本化すべきであり、項目内容の再検討も含めて抜本的に検討してほしい。
- 登録項目については、地域がん登録との完全共通化などをコンセプトとした改定案を策定した。今後これをたたき台とした検討会の開催を厚労省に要望している。
- がん登録の法制化に向けた対応を協議してほしい。
- 検討会を設置して協議するように厚労省に要望している。
- 地域がん登録精度の向上につながるように、研修内容・開催回数等の拡充をお願いしたい。
- 研修内容については、研修修了者を中心とした研修へのシフトを検討している。今後、がん登録パネル委員を中心に検討をする予定である。
- 院内がん登録に関する問い合わせのメーリングリストの返信がほとんどなくて困っています。全国共通の基準で行うためには国立がん研究センターの情報が便りです。
- 質問対応については、実際には研修会などで個別に対応している。今後は、窓口の一本化を含め、Web 上での検索可能な形での公開も検討していく。

2. 予後調査

- 予後調査の市町村の生存確認調査について、市町村に対し病院から住民票照会を行う場合、個人情報保護法及び発行手数料等の問題があるため、調査がスムーズに行えるよう関係各所へ働きかけていただきたい。
- 拠点病院における予後調査方法については、一定の方針を提示する必要性を認識している。地域がん登録で保有する予後情報を、人口動態統計死亡情報を情報源とする場合も含めて、拠点病院に還元する方法も選択肢の 1 つとして考えられる。検討会を開催して方針を決定するように厚労省に要望している。

3. 医療情報

- がん医療患者情報の一本化（統一カルテ番号の使用と施設間の IT による連携）

- 情報の一本化については、政府の「新たな情報通信技術戦略」（電子化レセプトデータの共通利用）における検討等を注視している。

4. 冊子配布

- 国立がん研究センターより出されている冊子の配布に関して、各拠点病院の補助金がダウンしており、印刷などの費用の面で問題が生じている。可能な限り、無料配布でお願いしたい。
- 冊子については、各拠点病院あてに当センターから今年度 53 万冊を送付しているが、予算の制約上送付数に上限を設けている。引き続き部数の確保に努めるが、閲覧展示、PDF ファイルのご紹介などでの対応をお願いしたい。医療機関等で予算を確保されて印刷する場合は、印刷データの提供を行っている。

5. 臨床研究

- がんの臨床に、より役立つトランスレーショナルリサーチを目指してほしい。
- 臨床研究については、部会の設置の提案を予定している。

II. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会において協議すべき事項

1. 緩和ケア研修

- 医師に対する緩和ケア研修会について、e-learning を用いた開催形式も「標準プログラム」に準拠していると厚生労働省に認めていただくよう要望を出していただきたい。
- 医師に対する緩和ケア研修会について、現在では主催のあるがん診療連携拠点病院の実績にしかないため、県内で複数回の開催をしなければならない。講師、ファシリテーターの労力を考えるとこのような体制で研修会を開催するのは非現実的ではないか。
- 標準プログラム(1 2 時間)の時間短縮等、修了要件の緩和”

2. がん登録

- がん登録の法制化
- がん患者の 5 年生存率算出に係る対象データや公表基準等の統一について
- 全国集計データの 2 次利用マニュアルの現状は？

3. 予後調査

- 地域がん登録事業を通して県が把握したがん患者の予後情報については、その情報元の如何によらず（人口動態死亡情報であっても）、患者情報を届出た医療機関に对

して、当該予後情報を提供できるよう、制度面での改善を厚生労働省にお願いしたい。

- 個人情報保護体制の整備(各市町村が保有する死亡情報や住民基本台帳の利用における利便)
- がん登録に関して、予後調査において、スタッフの労力アップが必要となるが個人情報などを含めて具体的な調査方法を提示してほしい。
- 「がん登録の実施体制、特に予後調査の方法」(現状と今後の予定等)についての協議をお願いしたい。

4. 拠点指定要件

- 各都道府県で定めている「拠点病院に準ずる病院」について、①特定のがんについて実績がある病院を指定しているか、また、その予定があるか。②そうした病院を指定している場合、どのような条件を指定しているか、また条件の設定にあたって、どのような配慮を行ったか。
- 拠点病院指定に関し、今後予想される要件見直しに向けて、協議会参加都道府県拠点病院の意見を求めること。
- 拠点病院の指定要件について、今後の変更の有無、将来的な方向性等について、厚生労働省から報告をいただきたい。

5. がん計画・指針

- 国のがん対策推進計画の見直しの方向性についても厚生労働省から報告をいただきたい。
- 都道府県やがん診療連携拠点病院が実施すべき事項に対し、それぞれの裁量に任せるとはならず、国が指針を示すよう働きかけるとともに、それに係る経費についても助成していただけるように要望していく必要がある。

6. 地域連携パス

- がん診療、特に地域連携パスの作成資料において、各都道府県で連携した取組が可能ですか？
- 地域連携クリティカルパスの運用の現状と課題、課題に対する解決策について、先進的な都道府県拠点病院から報告をいただきたい。

7. 拠点病院の取組

- がん医療の均てん化を行いながら、都道府県拠点病院としては、レベルアップが必要と考えるが、各病院の特色ある取組についてお聞きしたい。